

資料館で郷土学習

市内には、マキノ資料館・朽木資料館・高島歴史民俗資料館の3つの資料館があります。それぞれに、特色を生かした展示を行っています。

マキノ資料館は、山と湖の生活文化を伝える目的で、平成5(1993)年に開館しました。館に入ると、左手に昔のくらしを再現した囲炉裏端で、おじいさんが男の子に話をしています。展示室には、稲作の今と昔・山や琵琶湖の仕事・村の行事・くらしと道の具・古代マキノの出土品などを展示しています。

朽木資料館は、朽木陣屋跡に昭和57(1982)年に開館しまし



昔の暮らしを調べよう [マキノ資料館]



木地師や山仕事の道具 [朽木資料館]



石臼体験 [高島歴史民俗資料館]

た。木地師関係をはじめ山仕事の道具・生活用具・山ノ神祭具などを展示し、併せて朽木盆・木地椀類も多く展示しています。鎌倉時代から江戸時代にかけて、この地の領主であった朽木氏の関連資料も展示しています。幕末から明治に活躍した書画家池田白鷗の資料などもあります。また、朽木陣屋・西山城をはじめ、中世から近世にかけての高島市内の城と城下の紹介もしています。敷地内には、能家集落から移築された築約百五十年の茅葺民家があり、民家内は自由に見学することもできます。

高島歴史民俗資料館は、金銅製の宝冠や杵、環頭大刀など華麗な

副葬品が出土したことで有名な、鴨稻荷山古墳(6世紀前半)の南約150メートルにあります。この資料館は、昭和56(1981)年に開館しており、3つの資料館

の中では一番古い建物になります。一階の展示室には、鴨稻荷山古墳をはじめ打下古墳などの安曇川以南の古墳時代の資料を展示しています。特に打下古墳の被葬者復顔資料は、私たちのルーツの一端を知る貴重な資料です。二階展示室には、古墳時代の南市東遺跡をはじめ、下五反田遺跡・八反田遺跡など集落跡から出土した須恵器や土師器を展示しています。奈良時代から平安時代にかけては、永田遺跡・鴨遺跡の古代官衙関連出土遺物を並べています。また、市内から出土した古代寺院関連の古瓦も展示しています。近世に至っては、元和5(1619)年

伊勢上野より大溝に入封し、大溝藩主となった分部家関連史料、大溝藩にお預けの身になった北方の英傑、近藤重蔵関連の史料や東方木村(青柳)出身の馬場正通が模写した「三国丸」の模型も置いています。民俗資料としては、昭和前半のくらしを民具類の展示で再現しています。「枧」をテーマにしたコーナーでは、市内で使われ

た枧を、「京枧」を含む江戸時代の枧から明治の枧へとその変化も展示しています。枧かきの体験もできます。

来館者の中には、市内の小・中学校の郷土学習や体験学習での利用も多く、毎年好評の様子です。高島市の歴史や市内に残る生活文化・文化財の重要性を理解していただく良い機会と、歓迎していただきます。今年ぜひ皆さんも資料館に足を運んでみてください。思わぬ発見があるかもしれませんね。

ご利用については、同広報文化情報「ともじび」欄をご覧ください。

高島歴史民俗資料館

(36) 15553

編集者のつづき

正月休みで食べ過ぎたせいか、ぶくっと出てきたお腹が気になる時期ですね。今回の特集では、高島市の健診結果をご紹介しますが、なんと30代~50代の男性の約4割が肥満だそうです。▼表紙は、PTA連絡協議会主催の親子ふれあい活動のようす。親子で協力して「米粉すいとん入りばたん鍋」づくりに挑戦されました。おいしいお鍋に、思わず4杯もいただき、肥満の道へまた一歩前進してしまった私です…。(広報担当S)

広報たかしま

平成25年

2

月号 No.157

発行 高島市

編集 政策部企画広報課

〒900-1000 滋賀県高島市新旭町北畑5の番地

0740(25)8000(代)

http://www.city.takahima.shiga.jp

t:info@city.takahima.shiga.jp